Section2

価値創造戦略

価値創造モデル

当社グループは、自社が解決すべき社会課題を認識し、
価値創造モデルを継続的に推進することで持続的な成長と社会課題の解決を目指しています。

中期経営計画
2023年 2025年 2030年 2040年 2050年

2040年 JX金属グループ長期ビジョン
半導体材料／情報通信材料のグローバルリーダーとして持続可能な社会の実現に貢献

JX金属の価値創造

INPUT (2022年度)

財務資本
総資産
18,592億円

製造資本
拠点数
国内33 海外38

知的資本
研究開発費
13,573百万円

人的資本
連結従業員数
10,759名
(2023年3月31日現在)

社会関係資本
The Copper Mark認証の取得　2拠点

自然資本
エネルギー使用量
13,157 TJ

BUSINESS

オープンイノベーションの推進

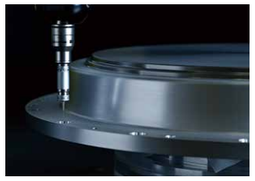
技術開発、品質改善、生産性向上、安定供給

技術付加価値

ベース事業製品の製品価値

基礎材料セグメント

フォーカス事業製品の製品価値 特集1▶P27



半導体材料セグメント
情報通信材料セグメント

環境付加価値

資源循環
サステナブルカッパー・ビジョン 特集2▶P33

脱炭素
2050年度ネットゼロ マテリアリティ1▶P53

社外パートナーとの連携

注目すべき社会トレンド
- 先端素材に対するニーズの拡大
- 気候変動対応の世界的な加速
- 資源不足・枯渇の深刻化

OUTPUT

半導体用スパッタリングターゲット

世界シェア 約60%

FPC(フレキシブルプリント基板)用圧延銅箔

世界シェア 約80%

インジウムリン化合物半導体基板

世界シェア※ 約30%

高純度タンタル粉

世界シェア※ 約50%

電気銅生産能力

年間 約45万トン

OUTCOME

経済価値

2040年における営業利益成長イメージ

フォーカス事業
2,000億円

ベース事業
500億円

社会・環境価値

- 先端素材がIoT・AI化を促進し、遠隔医療や途上国の教育普及等に貢献
- 粉体技術の深化により3Dプリンターの適用範囲を広げ、省資源化を実現
- リサイクルにおける技術革新を通じて「都市鉱山」を有効活用し、天然資源や自然環境を保全

IMPACT

デジタル化と環境保全が両立する持続可能な社会

※ 2023年10月末時点、当社推定